

エコアクション 21 環境活動レポート

2012 年度 (期間 2012/4 ~ 2013/3)



ケミコン精機株式会社

〒198-0042 東京都青梅市東青梅 1-7-6

Tel : 0428-24-3830 (代表) Fax : 0428-24-8599

1. 組織の概要

(1) 事業所名

ケミコン精機株式会社

(2) 代表者名

代表取締役常務 堀川 勝司

(3) 所在地

青梅事業所〒198-0042 東京都青梅市東青梅 1-7-6

仙台事業所〒989-2436 宮城県岩沼市吹上 2-3-7

(4) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 高橋 光也

連絡先 Tel 0428-24-3830 Fax 0428-24-8599

(5) 資本金

2,000万円

(6) 事業の規模

売上高28億3100万円(2011年度実績)

従業員数67名

(7) 事業内容

各種精密部品加工、販売

合理化、省力化機器設計及び製作、販売

2. 対象範囲

組織の概要に記載した全事業所・全事業内容

3. 環境方針

当社は、環境方針を以下の通り定め、これに基づき行動します。

文書番号 CE-101-12A

環 境 方 針

ケミコン精機株式会社は、日本ケミコングループの国内設備製作会社として『日本ケミコン環境基本方針』に基づき環境保全活動に取り組んでいきます。この環境方針を、ケミコン精機株式会社全事業所の活動方針として制定致します。

1. 環境方針を達成するために、適切な組織の構築、必要な人的・物質的資源を整え、目標を定め継続的改善および環境負荷の削減に取り組めます。
環境方針及び環境目標は、毎年定期見直しを行なうとともに必要な場合は臨時見直しを行ないます。
2. 環境関連の法規、条例および当社が同意したその他の要求事項を遵守し、実行します。
3. 全従業員がこの方針に従い、各事項に対し積極的に環境管理活動を展開します。
4. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組めます。
 - ①省エネルギー推進(CO2削減)
 - ②廃棄物の削減およびリサイクルの推進
 - ③水使用量の削減(節水)
 - ④化学物質の管理
 - ⑤グリーン調達／購入の推進
 - ⑥自社製品の環境配慮
5. 環境方針は文書化し、教育訓練および日常の活動を通じて、当社で働く全ての人に周知・徹底をはかるとともに社外にも公表致します。

2012年4月24日

ケミコン精機株式会社
代表取締役常務

代表者署名 堀川 勝司

4. 環境目標

当社における 2004 ～ 2008 年度実績平均（CO₂ のみ 2005 ～ 2007 年度）を基準とし、2012 年度から 2014 年度までの中期目標を設定。

項 目	基準	中 期 目 標		
	2004～2008 年度平均	2012年度	2013年度	2014年度
1) 省エネルギーの推進 (CO ₂ の削減)	2,754 Kg-CO ₂ /人 (2005～2007 年度平均)	2,589 Kg-CO ₂ /人	2,561 Kg-CO ₂ /人	2,534 Kg-CO ₂ /人
①電力使用量		2005～07年度 実績平均比 6.0%削減	2005～07年度 実績平均比 7.0%削減	2005～07年度 実績平均比 8.0%削減
②灯油				
③液化石油ガス(LPG)				
④ガソリン				
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進	0.137 t/人	0.132 t/人	0.130 t/人	0.129 t/人
①一般ごみ		2004～08年度 実績平均比 4.0%削減	2004～08年度 実績平均比 5.0%削減	2004～08年度 実績平均比 6.0%削減
②廃プラスチック				
③廃油				
④金属くず・配線くず				
⑤段ボール・事務用紙・古新聞				
⑥木くず				
3) 総排水量削減	10.96 m ³ /人	10.85 m ³ /人	10.85 m ³ /人	10.85 m ³ /人
①下水道		2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 1.0%削減
4) 化学物質の管理	(1.67Kg/人) 2006年度参考	PRTR法に該当する量の化学物質が使用されていないか監視する。代替えなどの可能性を探り、不可能な場合正しい届出がされているかの確認をする。 (PRTR該当物質(ジクロロメタン)については、2007年度より全廃し代替え品を使用。あえて数値目標とはしない)		
①化学物質の監視				
5) グリーン調達／購入の推進		事務用品のグリーン購入比率(エコラベル認定品比率)を単月及び累計で把握し、同時にグリーン購入できなかった主な物品をリストアップする。		
6) 自社製品の環境配慮		設計案件に対してのRoHS・省エネ対応部品明細表の使用状況を月次で把握し、不備があった場合その理由を明確にする。		

※CO₂排出係数は、0.378Kg-CO₂/Kwhを使用。

※総排水量の削減については、用途が生活排水のみであり、一通りの対策を実施したことから引き続き2014年度まで同じ数値目標としています。

5. 環境活動計画

(1) 省エネルギーの推進 (CO₂ の削減)

- ①空調温度管理、ON-OFF タイミングルールの徹底
- ②扇風機の積極的活用
- ③よしず、すだれの設置、ブラインド使用（直射日光を遮る）
- ④中間期の外気取り入れによる温度調整（網戸活用）
- ⑤必要に応じた作業エリアの伸縮、簡易間仕切り（一部工場閉鎖など）
- ⑥使用していない場所の照明 OFF の徹底
- ⑦OA機器の節電設定の徹底（PC の省電力設定など）
- ⑧デマンドの有効活用
- ⑨社有車使用優先順位、エコ運転の徹底

(2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

- ①ダンボールのリサイクル徹底
- ②事務用紙、古新聞等のリサイクル徹底
- ③木材パレットのリサイクル推進
- ④梱包資材の簡略化／削減
- ⑤緩衝材の再利用
- ⑥リサイクル費用の低減

(3) 総排水量削減

- ①各蛇口の節水、ルールの徹底
- ②蛇口等の水漏れ点検

(4) 化学物質の管理

- ①化学物質一覧表の定期更新と改訂
- ②新たな化学物質使用の監視

(5) グリーン調達／購入の推進

- ①事務用品のグリーン購入比率算出と非エコ品のリストアップ
- ②グリーン購入品への変更推進（基本的には安い方を選択）
- ③グリーン調達一覧表の更新と改訂
- ④加工部品の抜き取り検査方法確立（蛍光 X 線装置活用）と実行

(6) 自社製品の環境配慮

- ①省エネ設計・有害物質使用制限の為の環境部品明細の使用と遵守状況把握
- ②小型化、長寿命化、部品数削減等の推進

6. 環境目標の実績と評価

項 目	単 位	2004-08年度 実績平均(基準)	2012年度(2012/4～2013/3)		
			目 標	実績	評 価
1) 省エネルギーの推進 (CO ₂ の削減)	Kg-CO ₂ /人	2,754 (2005～2007年 度平均)	2,589	2,219	○
2) 廃棄物の削減及びリ サイクルの推進	t/人	0.137	0.132	0.078	○
3) 総排水量削減	m ³ /人	10.96	10.85	8.59	○
4) 化学物質の管理	—	—	毎月の化学物 質の監視	該当する新たな 化学物質の使 用は無し	○
5) グリーン調達／購入の 推進	—	—	毎月のグリーン購 入比率の把握 と非エコ品のリス トアップ	毎月漏れなく実 施	○
6) 自社製品の環境配慮	—	—	毎月のRoHS・ 省エネ明細の使 用把握と不備 理由の明確化	毎月漏れなく実 施	○

評価判定 ○……目標達成 ×……目標未達成

1) 省エネルギーの推進 (CO₂ の削減)

結果：2005 ～ 07 年度実績平均比に対しての 6%削減目標 → 実績 19.4%削減

2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

結果：2004 ～ 08 年度実績平均比に対しての 4%削減目標 → 実績 43.1%削減

3) 総排水量削減

結果：2004 ～ 08 年度実績平均比に対しての 1%削減目標 → 実績 21.6%削減

4) 化学物質の管理

結果：該当する新たな化学物質の使用は無し

5) グリーン調達／購入の推進

結果：毎月漏れなく、グリーン購入比率の把握と非エコ品のリストアップを実施

6) 自社製品の環境配慮

結果：毎月漏れなく、RoHS・省エネ明細（環境対応部品明細）の使用を遵守

7. 環境活動計画の取組結果、次年度(2013年度)の取組内容

(1) 省エネルギーの推進 (CO2の削減)

	環境活動計画	評価	結果	※ 次年度の取組み
①	空調の設定温度管理の徹底、節電対策	○	表示、朝礼等で冬20℃、夏28℃を徹底	・冬20℃、夏28℃の徹底
		△	夏場のエアコンONタイming 30℃実施	・エアコンONタイming 30℃実施
		○	扇風機等を積極的に活用	・扇風機等の積極活用
		○	朝晩など積極的に外気取り入れを推進	・外気取り入れ推進
		○	デマンドを活用し、ピーク値管理を実施	・デマンドの活用、ピーク値管理
		○	カーテン等で使用エリアの分割、限定を実施	・簡易間仕切り、使用エリアの分割、限定
②	断熱対策の実施	○	よしず、すだれ、グリーンカーテンの設置	よしず、すだれの設置継続
③	照明の節電徹底	○	必要なエリアのみの点灯実施	継続
④	OA機器の節電、省電力設定の徹底	○	実施可能なコピー機、プリンター、PCは全て省電力設定に変更	継続
⑤	社有車エコ運転の徹底	○	表示等でのエコ運転、燃費順の優先使用徹底	継続
⑥	コンプレッサーのエア漏れ点検/整備の実施	○	毎月点検を実施	継続

(2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

①	段ボールのリサイクル徹底(非焼却)	○	分別ルール of 徹底実施	継続
②	古新聞・古雑誌等のリサイクル徹底(非焼却)	○	分別ルール of 徹底実施	継続
③	緩衝材、木材パレットの再利用	○	置場の設置、継続	継続
④	事務用紙の再利用/リサイクルの徹底	○	シュレッダーにかけて再資源化実施	継続
⑤	部品梱包の簡略化/削減	△	業者への簡略化協力依頼表示実施	継続

(3) 総排水量削減

①	各蛇口の節水、ルール of 徹底	○	節水表示により徹底	継続
②	蛇口等の水漏れ点検	○	3か月毎に実施	継続

(4) 化学物質の管理

①	毎月の新規化学物質使用 of チェック	○	仙台で1件クリーナー剤を新規で購入したがPRTR法に該当しないことを確認	継続
②	化学物質一覧表 of 定期更新	○	青梅、仙台で各々2回更新実施	継続

(5) グリーン調達/購入 of 推進

①	事務用品 of グリーン購入比率 of 把握	○	毎月集計し、年間で41件(重複含む) of 非エコ品をリストアップできた	継続
②	エコラベル認定品 of 優先購入推進	○	今年度エコ品に変更したものは無かったが、昨年変更したエコ品 of 継続購入により、エコ品購入比率が37%から90%に向上。	継続
③	グリーン調達一覧表 of 定期更新	○	青梅、仙台で各々1回更新実施	継続

(6) 自社製品の環境配慮

①	環境部品明細(RoHS対応、省エネ)使用 of 遵守・確認	○	新規設計案件において、遵守率100%を達成。 省エネ機器 of 選定12件実施。	継続
②	小型化、長寿命化、部品点数削減 of 推進	○	表示及び設計開始時、検図時 of 確認を実施	継続

取組結果 of 凡例: ○実施 △不十分 ×未実施

※2013年度 of 仙台については、組織変更による規模縮小 of の為、数値目標を立てずに活動していきます。但し、環境データについては、毎月把握していきます。(2013年度はデータ取り期間)

活動内容の紹介

(1) 節電対策

昨年から続いている節電対策を一部紹介します。

【青梅事業所】



電力デマンド監視



サーキュレーターによる攪拌

【仙台事業所】



網戸での外気取り入れ



よしずでの日よけ

2) ボランティア活動



青梅事業所では 5S 活動の一環として職場のチームによる当番制で、会社前の歩道の清掃を毎週行っております。日頃から地域環境美化の意識向上を図っています。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

当社の 2012 年度における環境関連の適用法令に基づく遵守状況の確認結果の概要は以下の通りであった。(2012 年 7 月 30 日確認)

1) 青梅事業所

関連法令	該当する活動	遵守状況
騒音規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
振動規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	適合
	産業廃棄物の適正処分（運搬、処理の委託）	適合
	マニフェスト管理	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	適合

2) 仙台事業所

関連法令	該当する活動	遵守状況
騒音規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
振動規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	適合
	産業廃棄物の適正処分（運搬、処理の委託）	適合
	マニフェスト管理	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	適合
消防法	危険物貯蔵の届出	適合

※上記の通り環境に関連する法令について確認した結果不適合はありませんでした。

また、2012 年度において近隣・行政等の利害関係者より環境に関する苦情、訴訟はありませんでした。



9. 代表者による全体評価と見直しの結果

【代表者のコメント】

定期点検や各種帳票の更新、教育など決めたことは確実にっており、毎月の定期的な活動がしっかりと身についてきている。また、自発的な予防処置の実施など、活発な活動が展開できた。

2013年度は、年度末の社内の構造改革により組織が大幅に変更となり、また、環境管理責任者も新たに変更となる。中間審査等の改善提案も十分精査して、今一度原点に立ち返り、新環境管理責任者を全員でバックアップしながら新システムを作り上げる